

ロータリー財団情報

ロータリー財団委員会 委員長 溝畑 正信 (東大阪東RC)

1. ポリオ・プラス

【ポリオ症例数】

2012年9月3日現在のポリオ症例数です。

	2012年 1月1日～9月3日	2011年 1月1日～12月31日
アフガニスタン	17	80
パキスタン	29	198
ナイジェリア	83	62
インド	-	1
ポリオ常在国以外	5	309
世界合計	134	650

*現在、ポリオ常在国はアフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの3カ国です。

2. 新補助金制度(未来の夢計画)

【試験段階からの変更点】

来年7月から新しい補助金モデルが全世界に導入されますが、現在までに試験地区から寄せられた意見を基に、いくつかの変更が加えられることになりました。

① 2つの重点分野の基準を拡大

「基本的教育と識字率向上」に中等教育が含まれるほか、「疾病予防と治療」に非伝染性の疾病の予防と保健の推進が含まれます。さらに、すべての重点分野において、一定の種類のインフラ構築プロジェクトが認められます。

② 語学試験の結果が不要に

グローバル補助金の奨学生が語学試験の結果を提出する義務がなくなります。

③ 職業研修チームの編成への変更

チームの最低人数が3名となり、財団の承認があれば、ロータリアンでない人もチームリーダーとなることができます。

④ 旅費

グローバル補助金プロジェクトを実施するための海外渡航費用に補助金が利用できます。

⑤ パッケージ・グラントの予算の下限

これまでの50,000ドルから、20,000ドルに下がります。

3. 教育的・人道的プログラム(2012-13年度まで)

【マッチング・グラント(MG)】

2012-13年度は、試験段階に参加していない地区がマッチング・グラントを申請する最後の年度です。申請書は、2013年3月31日まで受け付けており、5月15日までに承認されます。25,001ドル以上のマッチング・グラントは、10月と4月に年2回審査されていましたが、今年度は年度を通じて随時審査が行われます。

【新補助金制度への移行】

マッチング・グラント(MG)・地区補助金(DSG)・国際親善奨学金・研究グループ交換(GSE)などのプログラムは、2012-13年度で終了します。2013-14年度からはグローバル補助金または新地区補助金(DG)を利用してプロジェクトを実施できます。国際親善奨学金や研究グループ交換(GSE)という名称はなくなり、金額や応募の時期が柔軟になります。グローバル補助金の場合にはWF(国際財団活動資金)からのマッチングが受けられますので、今までより大きな金額を利用することができます。ロータリー平和フェローシップは2013-14年度以降も継続します。

4. RRFRCより: 2012-13年度 日本の寄付推進目標

ロータリー財団地域コーディネーター(RRFRC)は、田中作次RI会長年度、補助金活動を支える寄付面でもより充実した年とするために、下記のとおり寄付推進目標を掲げました。

【日本の2012-13年度目標】

- ① 年次基金一人当たり: 150ドル
- ② 年次基金0 クラブ数: 0
- ③ ポリオ・プラス: 日本270万ドル(各ゾーン90万ドル)
※DDF(地区財団活動資金)含む
世界2,100万ドル

【訂正】

月信9月号9ページのロータリー財団情報で間違いがありましたので訂正いたします。

【ポリオ症例数】の表

(誤) 2012年1月1日～12月31日
(正) 2011年1月1日～12月31日